

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年5月8日

東・名

上場会社名 愛知時計電機株式会社 上場取引所  
 コード番号 7723 URL <https://www.aichitokei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 國島 賢治  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 丸山 覚 (TEL) 052-661-5151  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	59,116	8.9	4,710	19.5	5,208	9.3	4,801	35.9
2025年3月期	54,286	6.0	3,940	8.9	4,764	11.7	3,533	11.3

(注) 包括利益 2026年3月期 7,228百万円( 99.2%) 2025年3月期 3,628百万円( △45.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	312.16	—	9.7	7.8	8.0
2025年3月期	229.87	229.80	7.8	7.7	7.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(注) 2026年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	70,284	52,583	74.8	3,427.51
2025年3月期	62,720	46,789	74.6	3,041.74

(参考) 自己資本 2026年3月期 52,583百万円 2025年3月期 46,789百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,819	△2,374	△1,581	8,915
2025年3月期	1,856	738	△1,347	10,009

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00	1,153	32.6	2.5
2026年3月期	—	45.00	—	68.00	113.00	1,736	36.2	3.5
2027年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00		39.9	

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	60,480	2.3	4,960	5.3	5,320	2.1	4,610	△4.0	300.49

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	15,420,000株	2025年3月期	15,420,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	78,347株	2025年3月期	37,622株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	15,381,843株	2025年3月期	15,372,836株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	59,268	9.2	4,021	18.2	5,069	6.0	4,798	30.9
2025年3月期	54,253	6.1	3,402	6.6	4,783	7.9	3,666	7.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	311.94		-					
2025年3月期	238.49		238.42					

(注) 2026年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2026年3月期	64,842		46,192		71.2		3,010.92	
2025年3月期	57,751		41,409		71.7		2,692.04	

(参考) 自己資本 2026年3月期 46,192百万円 2025年3月期 41,409百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2026年6月2日(月)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、個人消費や設備投資を中心に持ち直しの動きがみられました。しかしながら、物価上昇の継続に加え、地政学リスクの高まり、中国経済の先行き懸念、米国の通商政策による影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、公共投資及び民間設備投資は底堅く推移したものの、新設住宅着工戸数は減少傾向がみられました。

このような状況のもと、当社グループは、2024年5月に公表しました2024年度から2026年度までの3カ年を対象期間とした「中期経営計画2026」の基本戦略「市場・事業領域の拡大」、「基盤事業の競争力強化」及び「企業価値の向上」に基づき、各重点施策を推進してまいりました。

こうした背景の中、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は、国内市場を中心に需要が堅調に推移したことから、前期比8.9%増収の591億1千6百万円となりました。利益面につきましては、一部製品の不具合対策費用を計上したものの、増収効果に加え、売上製品構成がプラスに寄与したことなどから、営業利益は前期比19.5%増益の47億1千万円、経常利益は前期比9.3%増益の52億8百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券売却益を特別利益に計上したことなどから、前期比35.9%増益の48億1百万円となりました。

事業部門別の状況は次のとおりであります。

#### (計測器関連事業)

売上高は、前期比8.9%増収の590億6千1百万円となりました。各分野別の状況は次のとおりであります。

##### ガス関連機器

LPGガス関連は、家庭用LPGガスメーターの更新需要が回復期に入ったほか、データ配信サービス「アイチクラウド」関連製品も引き続き堅調に推移したことから増加となりました。都市ガス関連は、2024年4月に設立した合弁会社の効果もあり中国向け輸出が増加したものの、国内市場は減少となりました。その結果、ガス関連機器の売上高は前期比3.8%増収の274億8千4百万円となりました。

##### 水道関連機器

国内は官需市場・民間市場ともに堅調に推移したほか、スマートメーター関連製品も加わり前期を上回りました。輸出も北米向け水道メーターを中心に増加しました。その結果、水道関連機器の売上高は前期比8.6%増収の204億7千万円となりました。

##### 民需センサー・システム

当社のコア技術を活かした電磁流量計や超音波流量計を中心とした液体・気体の各種センサーとシステムを、工場における省エネ・省資源管理や環境対策に向けて拡販を進めました。国内市場は減少したものの、欧米向けの流量センサーが増加し、民需センサー・システムの売上高は前期比2.9%増収の27億6百万円となりました。

##### 計装

大口物件の確保により受注拡大を図るべく、営業体制の充実や提案力・施工能力の強化などを従前から推し進めてまいりました。前期からの年度またぎ物件の工事が進行し、売上高は前期比34.1%増収の83億9千9百万円となりました。

#### (特機関連事業)

##### 特機

売上高は、前期比1.3%減収の5千4百万円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

流動資産は、現預金が減少したものの売掛金及び棚卸資産などが増加したことにより、前連結会計年度末に比べて10.5%増加し、421億8千6百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産及び退職給付に係る資産が増加したことに加え、株価上昇により投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて14.5%増加し、280億9千8百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて12.1%増加し、702億8千4百万円となりました。

(負債)

負債は、退職給付に係る負債及び電子記録債務が減少したものの製品保証引当金を計上したことや支払手形及び買掛金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて11.1%増加し、177億円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金に加え、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて12.4%増加し、525億8千3百万円となりました。

この結果、自己資本比率は74.8%となり、前連結会計年度末と比べて0.2ポイント増となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて10億9千4百万円減少し、89億1千5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権及び契約資産の増加や棚卸資産の増加による支出などがあったものの、税金等調整前当期純利益と減価償却費合わせて75億4千2百万円の収入があったことなどにより、28億1千9百万円の収入（前期比9億6千3百万円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の売却による収入があったものの、有価証券の取得や有形固定資産の取得による支出などにより、23億7千4百万円の支出（前期比31億1千2百万円の支出増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払いや自己株式の取得などにより、15億8千1百万円の支出（前期比2億3千4百万円の支出増）となりました。

なお、金融機関と総額40億円のコミットメントライン契約を締結しており、不測の事態に備え、資金の流動性を確保しております。

### (4) 今後の見通し

次期（2027年3月期）につきましては、売上面では、引き続き家庭用LPガスメーターの更新需要が見込まれることに加え、その他の分野も堅調に推移することから、増収を見込んでおります。利益面では、部品調達価格や人件費の上昇が見込まれるものの、生産性の向上により収益性の向上を推し進め、利益を確保すべく努力する所存であります。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高は604億8千万円（前期比2.3%増）、営業利益は49億6千万円（前期比5.3%増）、経常利益は53億2千万円（前期比2.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却もあり46億1千万円（前期比4.0%減）を見込んでおります。

なお、中東情勢の緊迫化により先行き不透明な状況が続くものと考えられます。現時点においては業績予想に織り込んでおらず、これらの影響が業績に大きな影響を与えることが判明した際には、すみやかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較及び国内企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応をすすめていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,268	9,174
受取手形	633	181
電子記録債権	3,093	3,305
売掛金	9,962	11,711
契約資産	257	515
有価証券	—	2,000
製品	1,753	2,354
仕掛品	11,359	12,081
原材料及び貯蔵品	341	412
その他	521	451
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	38,190	42,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,787	5,168
機械装置及び運搬具（純額）	1,235	1,733
土地	1,520	1,520
リース資産（純額）	186	128
建設仮勘定	1,149	1,627
その他（純額）	215	247
有形固定資産合計	9,094	10,425
無形固定資産		
リース資産	47	33
その他	19	19
無形固定資産合計	67	52
投資その他の資産		
投資有価証券	9,145	10,846
退職給付に係る資産	4,664	5,754
繰延税金資産	570	64
その他	993	962
貸倒引当金	△4	△8
投資その他の資産合計	15,368	17,620
固定資産合計	24,530	28,098
資産合計	62,720	70,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,889	4,626
電子記録債務	2,494	1,987
短期借入金	700	666
リース債務	115	73
未払法人税等	975	1,508
契約負債	93	316
製品保証引当金	—	1,129
役員賞与引当金	53	51
その他	2,933	3,247
流動負債合計	11,255	13,607
固定負債		
長期借入金	—	34
リース債務	142	103
退職給付に係る負債	4,515	3,685
資産除去債務	6	6
繰延税金負債	—	251
その他	12	12
固定負債合計	4,676	4,093
負債合計	15,931	17,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,218	3,218
資本剰余金	322	334
利益剰余金	36,796	40,290
自己株式	△59	△196
株主資本合計	40,278	43,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,650	5,069
為替換算調整勘定	940	935
退職給付に係る調整累計額	1,919	2,932
その他の包括利益累計額合計	6,510	8,937
純資産合計	46,789	52,583
負債純資産合計	62,720	70,284

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	54,286	59,116
売上原価	41,902	44,395
売上総利益	12,383	14,720
販売費及び一般管理費	8,443	10,009
営業利益	3,940	4,710
営業外収益		
受取利息	29	13
受取配当金	284	338
投資不動産賃貸料	66	66
為替差益	8	77
投資有価証券売却益	418	—
その他	72	85
営業外収益合計	880	581
営業外費用		
支払利息	6	9
不動産賃貸費用	10	10
固定資産売却損	6	13
その他	33	50
営業外費用合計	56	83
経常利益	4,764	5,208
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,242
特別利益合計	—	1,242
税金等調整前当期純利益	4,764	6,451
法人税、住民税及び事業税	1,636	2,004
法人税等調整額	△405	△354
法人税等合計	1,230	1,649
当期純利益	3,533	4,801
親会社株主に帰属する当期純利益	3,533	4,801

## 連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	3,533	4,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△185	1,418
為替換算調整勘定	346	△4
退職給付に係る調整額	△65	1,013
その他の包括利益合計	95	2,426
包括利益	3,628	7,228
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,628	7,228

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,218	311	34,308	△99	37,738
当期変動額					
剰余金の配当			△1,044		△1,044
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,533		3,533
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		10		40	51
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	10	2,488	40	2,539
当期末残高	3,218	322	36,796	△59	40,278

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,836	594	1,984	6,415	5	44,159
当期変動額						
剰余金の配当						△1,044
親会社株主に帰属する 当期純利益						3,533
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						51
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△185	346	△65	95	△5	89
当期変動額合計	△185	346	△65	95	△5	2,629
当期末残高	3,650	940	1,919	6,510	－	46,789

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,218	322	36,796	△59	40,278
当期変動額					
剰余金の配当			△1,308		△1,308
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,801		4,801
自己株式の取得				△167	△167
自己株式の処分		11		30	42
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	11	3,493	△137	3,367
当期末残高	3,218	334	40,290	△196	43,646

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,650	940	1,919	6,510	—	46,789
当期変動額						
剰余金の配当						△1,308
親会社株主に帰属する 当期純利益						4,801
自己株式の取得						△167
自己株式の処分						42
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,418	△4	1,013	2,426	—	2,426
当期変動額合計	1,418	△4	1,013	2,426	—	5,794
当期末残高	5,069	935	2,932	8,937	—	52,583

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,764	6,451
減価償却費	1,048	1,091
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	—	1,129
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	7	△2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	3
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△283	△328
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△155	△111
受取利息及び受取配当金	△314	△352
支払利息	6	9
為替差損益 (△は益)	△14	△56
有形固定資産除売却損益 (△は益)	2	7
投資有価証券売却損益 (△は益)	△418	△1,242
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△24	△1,762
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△363	△1,386
仕入債務の増減額 (△は減少)	△395	230
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4	△84
その他	△622	380
小計	3,240	3,977
利息及び配当金の受取額	314	352
利息の支払額	△6	△9
法人税等の支払額	△1,691	△1,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,856	2,819
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△2,000
定期預金の純増減額 (△は増加)	1,999	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,618	△2,003
有形固定資産の売却による収入	7	6
投資有価証券の取得による支出	△84	△10
投資有価証券の売却による収入	521	1,614
その他	△87	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	738	△2,374
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△158	—
長期借入れによる収入	—	34
長期借入金の返済による支出	—	△34
リース債務の返済による支出	△146	△118
自己株式の取得による支出	△0	△167
配当金の支払額	△1,042	△1,295
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,347	△1,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	189	42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,437	△1,094
現金及び現金同等物の期首残高	8,572	10,009
現金及び現金同等物の期末残高	10,009	8,915

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、全セグメントに占める「計測器関連事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	3,041.74円	3,427.51円
1株当たり当期純利益	229.87円	312.16円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	229.80円	－円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,533	4,801
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,533	4,801
普通株式の期中平均株式数(千株)	15,372	15,381
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	－	－
普通株式増加数(千株)	4	－
(うち新株予約権(千株))	(4)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当連結会計年度末 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	46,789	52,583
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	－	－
(うち新株予約権(百万円))	(－)	(－)
(うち非支配株主持分(百万円))	(－)	(－)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	46,789	52,583
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株)	15,382	15,341

(重要な後発事象)

該当事項はありません。